

医療救護隊について

泉区役所福祉保健課運営企画係

2026年6月4日

泉区地域防災拠点運営委員会総会

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

1. 医療救護隊の編成



震度6弱以上の地震が観測された区は、区医師会、区薬剤師会等の協力を経て医療救護隊が編成される。

震度6弱未満でも、負傷者等が多数発生している場合には市の要請により編成が要請される。



2. 隊の構成内容

1 隊 5 人程度を基本。
 基本的な構成内容は表のとおり



医師	看護師	薬剤師	業務調整員
1~2人	1~2人	1人	1人

状況に応じて、他の医療関係団体、医療ボランティア等が加わる

3

4. 主な活動内容

- ・ 避難所における負傷者等の状況把握
- ・ 軽症者の診療
 (挫創、挫傷、熱傷、骨折等の外傷に対する応急処置)



まずは避難者等の中から、
 医療が必要な人について状況把握を
 行い、高次医療機関受診の可否を
 判断します。

4

【参考】

医療救護隊の医師により

中等症以上と診断されたら

→ 高次医療機関への移動。搬送は自助・共助



ご家族や近隣の方同士での
助け合いをお願いします

5

5. 令和8年4月1日～運用開始 医療救護隊の新たな参集場所

◆国際親善総合病院（主に長後街道以北の拠点を担当）

◆ゆめが丘総合病院（主に長後街道以南の拠点を担当）

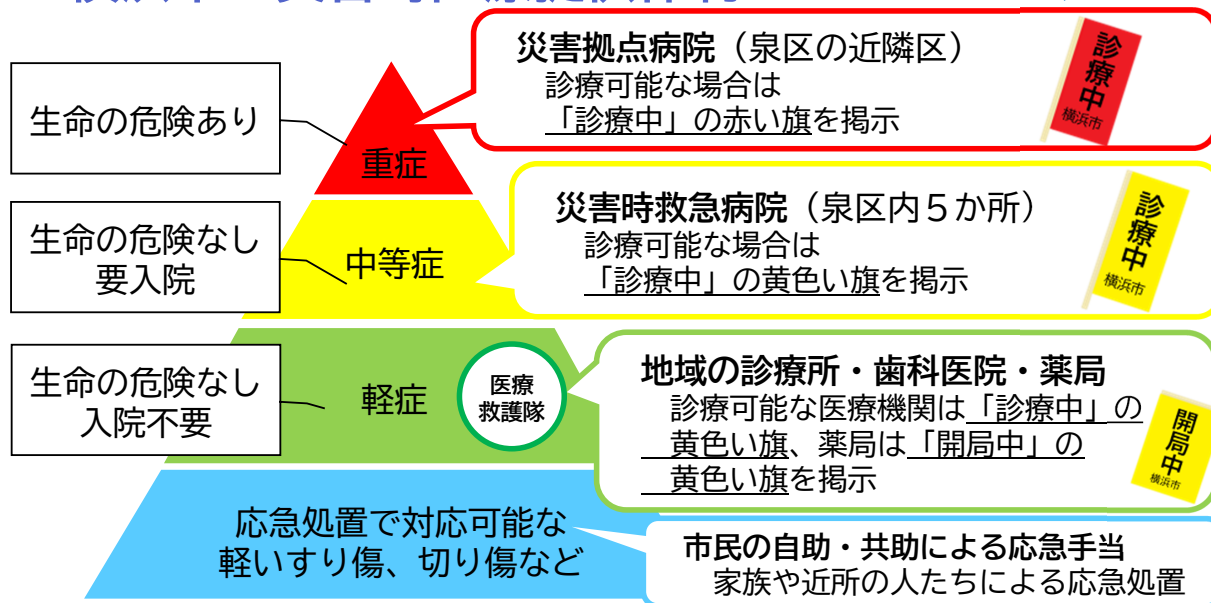
➡状況に応じて巡回エリアの調整を実施

令和8年4月1日より医療救護隊の参集場所は、
それまでの泉区役所から上記2病院に変わりました。



6

6. 横浜市の災害時医療提供体制



7

7. 保健活動グループ

- 区役所等の保健師で構成
- 地域防災拠点等を巡回し健康調査を実施
 - 福祉保健及び医療の支援が必要な人を適切なところへそれぞれ結びつける
 - 健康問題を防ぐための保健指導・予防活動

診察ではなく慢性疾患のある人や
こころのケアが必要な人を把握をして
必要なところにつなげます



8

【参考】

対象者の状況別に見た医療救護隊等と保健活動グループの役割分担

主な対象者	
医療 (医療救護隊等)	救命救急医療の対象者
	緊急的に医療を必要とする人 外傷、人工透析、高度医療機器装着者 等
	薬不足等で医療を必要とする人 高血圧症、糖尿病、心疾患、てんかん、精神疾患患者 等
	体調不良を抱えている人 不眠、不穏、風邪、軽い病気 等
	避難所生活や医療・介護サービスの停止で体調が悪くなる人 感染症の発生、介護供給量の不足による病状悪化 ストレス等による体調不良（エコノミー症候群） 心のケア（PTSD） 等
	市民全体

9

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA

10